



注目ポイント

- ✓先週、国内金利が大幅上昇。植田総裁の講演が利上げに前向きと受け止められ、今月の金融政策決定会合での日銀の利上げ期待が急速に強まり、また利上げのターミナルレート(最終水準)引き上げの思惑も台頭し、10年国債利回りは1.95%まで上昇した。一方、米利下げ観測と日銀利上げ観測が重なり円高が進行、ドル円は一時154円台まで円高に。株式は乱高下し、日経平均は一時5万1,000円台を回復するも、過熱感と日米中銀会合を前に上値は重かった。
- ✓今週はFOMCが最大の焦点。利下げ25bpは織り込み済みで、パウエル議長の発言から今後のスタンスを探る展開が予想される。将来の米利下げ期待が強まればドル安の材料となるが、日本の財政懸念から円高余地は限定的か。上昇基調の国内金利は、FOMCで米利下げ期待が強まれば米金利低下を通じて上昇は抑制されよう。一方で、日経平均は、日銀会合通過までは様子見姿勢で上値が重い展開が予想されるが、米利下げ期待が高まれば支援材料となろう。(門倉英司)

2025年12月1日 ~ 2025年12月5日

市場・指標			12月1日 ~ 12月5日		12月5日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
株式	日本	日経平均(円)	51,028	49,216	50,492	+238	+0.5%	
	米国	NYダウ(ドル)	48,134	47,264	47,955	+239	+0.5%	
	ドイツ	DAX(ポイント)	24,131	23,433	24,028	+191	+0.8%	

市場・指標			12月1日 ~ 12月5日		12月5日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			最高	最低	終値	変化幅(%)	
金利 (国債)	日本	10年(%)	1.950	1.840	1.950	+0.145	
	米国	10年(%)	4.14	4.02	4.14	+0.13	
	ドイツ	10年(%)	2.80	2.70	2.80	+0.11	

市場・指標			12月1日 ~ 12月5日		12月5日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	変化幅(円)	
為替	米ドル(円)		156.24	154.35	155.33	-0.85	
	ユーロ(円)		181.46	180.10	180.82	-0.34	
	豪ドル(円)		103.20	101.51	103.16	+0.86	

市場・指標			12月1日 ~ 12月5日		12月5日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
その他	日本	東証リート(ポイント)	2,024	1,962	1,962	-62	-3.0%	
	米国	NY原油(ドル)	60.50	58.28	60.08	+1.5	+2.6%	
		NY金(ドル)	4,300	4,194	4,243	-12	-0.3%	

(注) Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成。休日・休場の場合は、その前営業日の値を使用して作成してあります。

②マーケット動向(振り返り&予想)

2025年12月8日 ~ 2025年12月12日

株式

もみ合いか

 日経平均
【予想レンジ】 49,500 円 ~ 51,500 円

- 先週の日経平均は乱高下。植田日銀総裁の「12月利上げの示唆」と捉えられる発言を受け、週初は急反落でスタートしたが、その後米利下げ観測や半導体関連株の上昇を背景に買い戻しが進み、4日には約3週間ぶりに5万1,000円台を回復した。しかし週末には、過熱感や翌週から続く日米中銀の会合を控え上値も重く、再度反落して終了。
- 今週の日経平均はもみ合いか。今週は、米FOMCの結果が最大の材料。利下げは0.25%でほぼ織り込み済みのためサプライズはないが、もしパウエル議長の会見でさらなる利下げ期待が高まれば、株式市場には追い風となろう。ただし来週に日銀決定会合を控え、積極的な売買は手控えられるため上値も重い展開となろう。


 金利
(国債)

一進一退か

 10年国債利回り
【予想レンジ】 1.900 % ~ 2.000 %

- 先週の国内金利は急上昇。植田日銀総裁による1日の講演の発言が利上げに前向きと捉えられ、今月の政策決定会合(18~19日)での利上げ観測が急速に高まった。市場で台頭する利上げのターミナルレート(最終水準)切り上げの見方も重荷となり、債券相場は過央から続落し、10年債利回りは1.95%(2007年7月以来)まで上昇した。
- 今週の国内金利は、一進一退の展開か。追加利上げが見込まれる日銀決定会合を来週に控え、金利上昇圧力がかかる中、今週のFOMCでは追加利下げが見込まれ、パウエル議長の発言などでさらなる利下げ期待が強まれば、米金利低下を通じて国内金利の上昇は抑えられよう。新発国債入札(9日:5年、11日:20年)で需給環境を確認しながら、来週の決定会合に備える展開が予想される。


 為替
(米ドル)

円高ドル安基調が継続か

 米ドル/円
【予想レンジ】 154.00 円 ~ 156.00 円

- 先週のドル円は、円高ドル安が進展。市場でほぼ確実視される今月の米利下げに加え、植田総裁の発言を受け日銀の利上げ観測も加わり、日米金利差縮小期待から円買いドル売りが旺盛に。5日午後、「日銀が0.75%への利上げ公算大」との報道(Bloomberg)が円買いに拍車をかけ、一時1ドル=154円35銭レベルまで円高が進む場面も。
- 今週のドル円は、円高ドル安基調が継続か。今週はFOMC(9~10日)が最大の焦点。利下げ25bpは既定路線で、経済見通し(SEP)やパウエルFRB議長の会見等で、この先の金融政策スタンスについてのヒントを見出すことが目的になろう。次期議長指名の有無も材料で、将来の利下げ期待が強まればドル安が進む可能性も。ただし、日本の財政悪化懸念が燃えるため、円高の進行余地は限定的だろう。

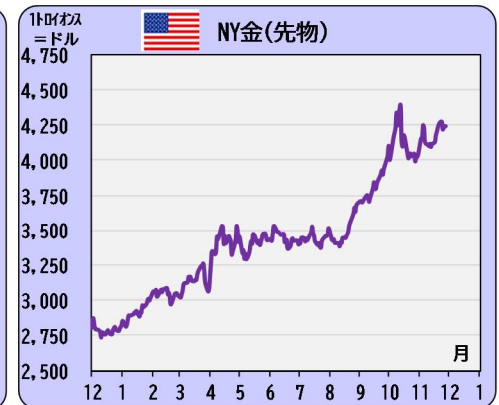
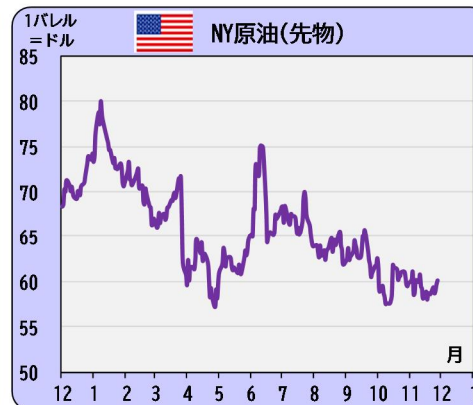
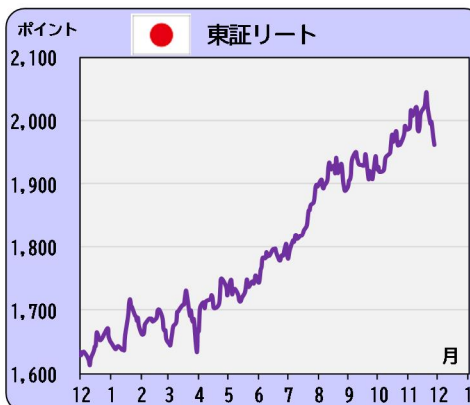
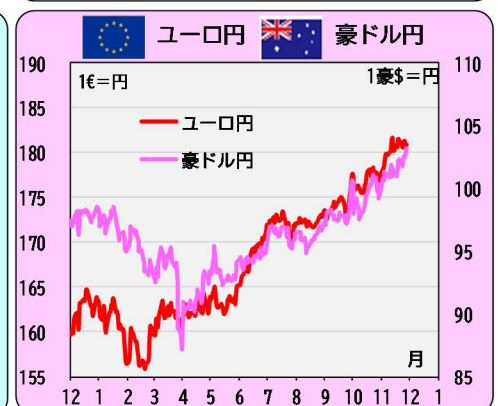
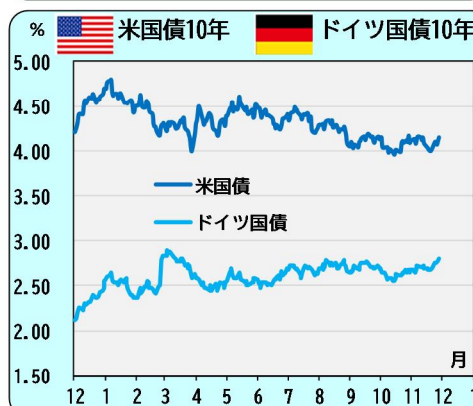
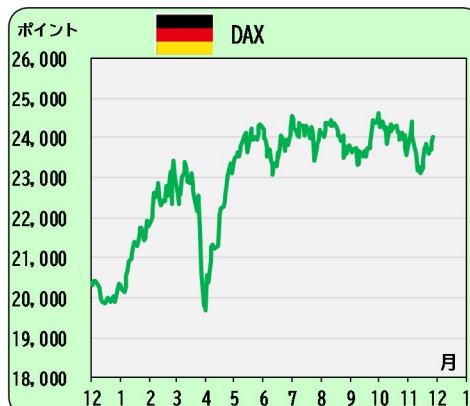
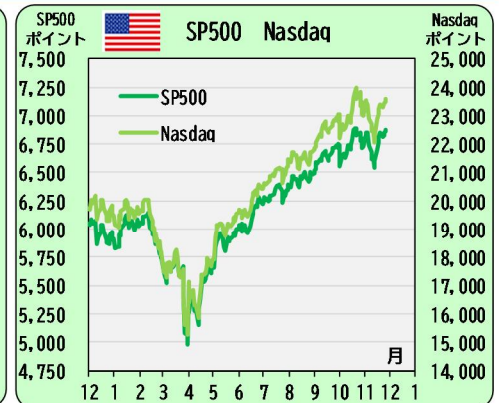
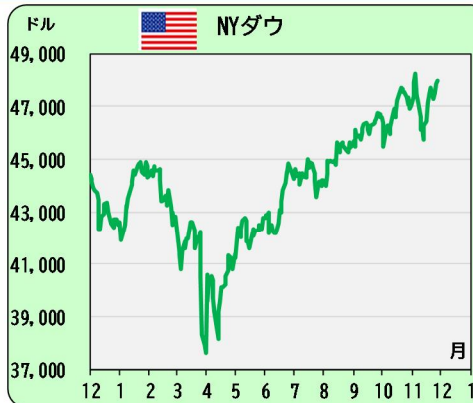


○今週の注目標 内容および日程が変更される場合があります。

月 日	国 内	海 外
12/8(月)	毎月勤労統計(10月) 国際収支統計(10月) GDP(7~9月)二次速報値 景気ウォッチャー調査(11月)	米国: 国債入札(5年)
12/9(火)	国債入札(5年)	米国: FOMC(~10日) 米国: 国債入札(10年)
12/10(水)	国内企業物価指数(11月)	米国: CPI(11月) 米国: 財政収支(11月)
12/11(木)	国債入札(20年)	米国: PPI(11月) 米国: 国債入札(30年)
12/12(金)		

③その他チャート集

直近1年間



※頻出英字略称用語一覧

略称	正式名称	略称	正式名称	略称	正式名称
ADP	米国の給与計算代行大手会社	FOMC	米公開市場委員会	PBR	株価純資産倍率
AI	人工知能	FRB	米連邦準備理事会	PCE	個人消費支出
CTA	商品投資顧問	FTA	自由貿易協定	PER	株価収益率
CTFC	米商品先物取引委員会	GDP	国内総生産	PMI	購買担当者景気指数
CPI	消費者物価指数	IMF	国際通貨基金	PPI	卸売物価指数(生産者物価指数)
ECB	欧州中央銀行	IEA	国際エネルギー機関	SQ	特別清算指数
ETF	上場投資信託	ISM	米供給管理協会	TPP	環太平洋経済連携協定
EU	欧州連合	OECD	経済協力開発機構	WSTS	世界半導体市場統計
FDI	海外直接投資	OPEC	石油輸出国機構	WTI	ウエストテキサスインターメディアート(原油)
FF	フェデラルファンド	OPEC+	OPEC加盟国と非加盟国の枠組み		

●ご留意事項

- ・本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、発行日午前9時までの情報にもとづく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源にもとづいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。最終的な投資判断はお客様ご自身でなさるようお願いいたします。
- ・本レポートに関するお問い合わせは浜銀総合研究所・調査部までお願いします。